

災害応急対策（防災拠点） 検討部会

第5回検討部会に向けて

令和6年8月20日
奈良県防災統括室

第5回検討部会以降の検討項目

I 災害応急対策（防災拠点）検討部会の検討事項

1. 想定される災害リスク
2. 県全体の防災体制の確保
 - (1) 検討の基本的な視点
 - (2) 想定される災害を踏まえた応援受援体制の確保
 - (3) 十分な災害応急対策のために求められる要素、教訓
 - ① 広域防災拠点の現状と課題
 - ② 既存施設の現状と課題
 - ③ 過去災害における教訓(応援受援体制)
 - ④ 近隣府県の広域防災拠点の事例
 - ⑤ 令和6年能登半島地震の被害状況
 - ⑥ 孤立集落の発生リスク
3. 今後の防災拠点整備のあり方
 - (1) 防災拠点整備の基本的な方向性
 - ① 想定される災害における応援部隊、支援物資の受入量
 - ② 広域防災拠点の配置スタイル
 - ③ 中核的広域防災拠点の選定
 - ④ 広域防災拠点の体系的整理
 - ⑤ 支援物資の流れ
 - ⑥ 支援物資保管庫の面積
 - ⑦ 応援部隊(DMAT)の派遣
 - ⑧ SCUの設置
 - ⑨ 航空(ヘリ)の支援拠点
 - ⑩ 応援部隊(消防・警察・自衛隊)の受入必要面積
 - ⑪ 応援部隊(消防・警察・自衛隊)の受入可能面積
 - ⑫ 広域防災拠点等の機能・規模
 - ⑬ 近隣府県への支援(県内広域防災拠点の活用)
 - (2) 消防学校移転整備に向けた検討経緯

第1回

- (3) 支援物資保管庫の面積の精査
 - (4) 応援部隊(消防・警察・自衛隊)の受入可能面積の精査
 - (5) 五條県有地のヘリパッド・駐機場等の規模整理
 - (6) 広域防災拠点等の機能・規模のまとめ
4. 各防災拠点整備の検討
 - (1) 檀原公苑における防災拠点整備の検討
 - ① 航空法等規制面の検証
 - ② 地質調査による液状化の検討結果
 - ③ 檀原公苑の再整備構想
 - (2) 五條県有地における防災拠点整備の検討
 - ① 新計画の整備イメージ
 - ② 経済合理性(建設コスト、運用コスト、平時の活用)
 - (3) 消防学校の整備方針の検討
 - ① 消防学校と広域防災拠点との併設案の検討
 - ② 併設案と単独案の比較検討

第3回

第2回

《今後の予定》

- ・ 災害時における孤立集落等での非常用電源の確保案
- ・ 3分野の(救助、物資、医療)の受入手順 など

II 災害活動体制の見直し検討について

1. 災害活動体制(災害対策本部機能)の検証等

第3回

災害時に必要な非常用電源

- 災害による停電時においても防災拠点(五條県有地)を運用するため、非常用電源は必要。
- また、県南部は道路災害等により、孤立集落となる可能性が高く、長期の停電リスクがあるため、孤立避難所の非常用電源の確保は必要。

災害時に必要な非常用電源

① 防災拠点(五條県有地)で必要となる電力

- ・ 支援物資保管庫
- ・ ヘリポート(航空灯火等保安用施設)
- ・ 格納庫(SCU)
- ・ 給油施設 など

■ 防災拠点(五條県有地)の整備イメージ

支援物資保管庫



格納庫・給油施設



② 孤立避難所で必要となる電力

- ・ 照明
- ・ テレビ
- ・ スマートフォン
- ・ パソコン など

■ 避難所における活用イメージ



《今後の検討事項》

今後、防災拠点(五條県有地)および孤立避難所における非常用電源の確保に向けて、下記の検討を予定

- ① 非常用電力の必要量の検討
- ② 非常用電力の導入方法の検討